

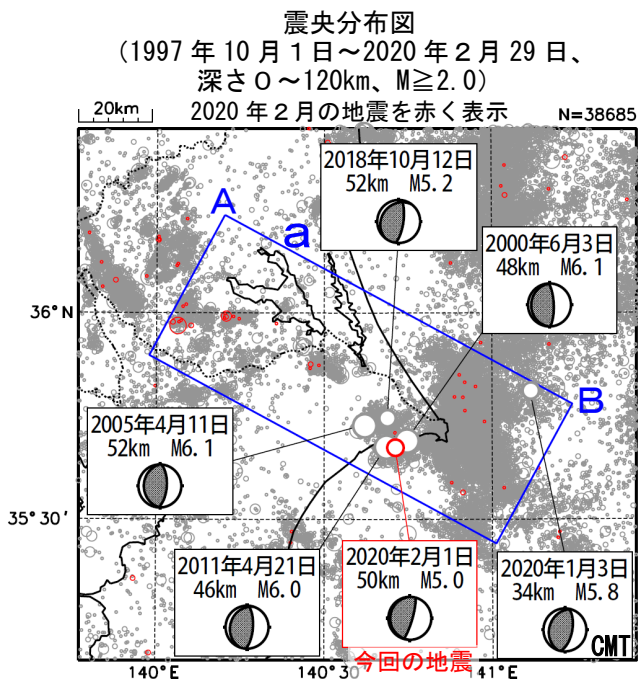
2月1日 千葉県東方沖の地震

情報発表に用いた震央地名は「千葉県北東部」である。

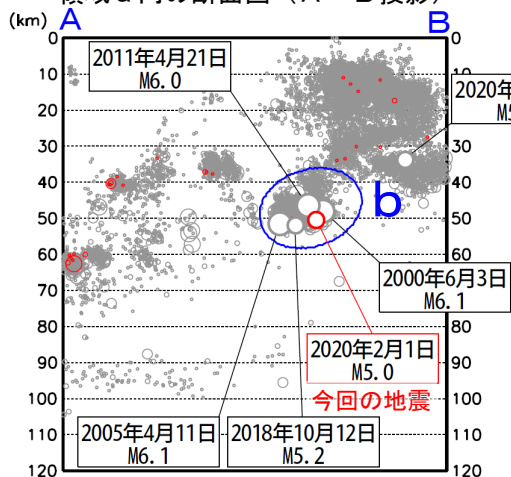
2020年2月1日01時11分に千葉県東方沖の深さ50kmでM5.0の地震（最大震度3）が発生した。この地震は発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、2020年1月3日のM5.8の地震（最大震度4）が発生している。今回の地震の震源付近（領域b）では、2000年6月3日のM6.1の地震（最大震度5弱）が発生するなどM6.0以上の地震がたまに発生している。また、東北地方太平洋沖地震の発生以降は地震活動が活発になり、2018年10月12日のM5.2の地震（最大震度4）のようなM5.0以上の地震が時々発生している。

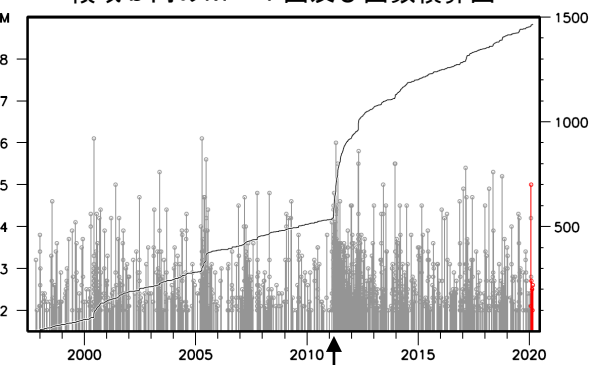
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6程度の地震が時々発生している。1987年12月17日に発生した千葉県東方沖の地震（M6.7、最大震度5）では、死者2人、住家全壊16棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。



領域a内の断面図 (A-B投影)



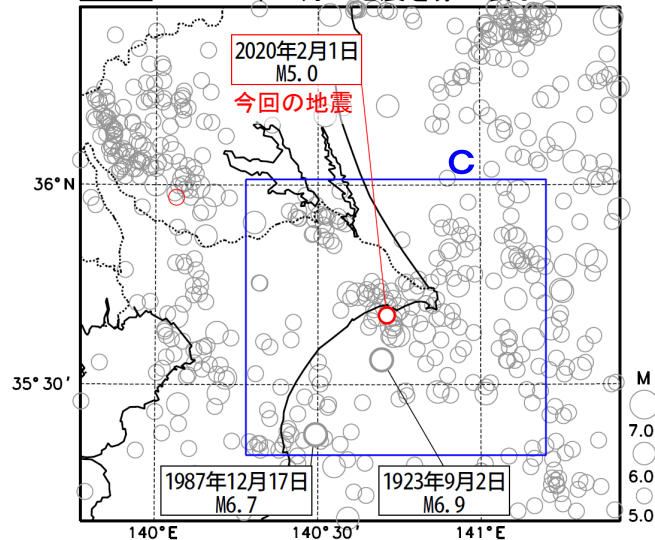
領域b内のM-T図及び回数積算図



東北地方太平洋沖地震発生

震央分布図

(1919年1月1日～2020年2月29日、深さ0～100km、M≥5.0)
2020年2月の地震を赤で表示



領域c内のM-T図

